

I. FY22総括・FY23見通し

+%, YoY = 前年同期比
 当期利益は親会社の所有者に帰属する利益を表示
 モバイル総回線数・連結従業員数は23年3月末時点に記載
 *FY21増加人数はPTC分除く

FY22総括

コロナ禍一服後も高需要継続で売上成長率加速

FY20: +4.2%、FY21: +6.3%、FY22: +11.7%

総合力発揮で大型複合案件の提案・獲得機会増加
 新たな成長フェーズへの布石となった一年

売上	営業利益	営業利益率	当期利益	ROE
2,527.1億円	272.2億円	10.8%	188.4億円	17.0%
+11.7%	+15.6%	+0.4ポイント	+20.2%	+0.8ポイント

- NW サービス**
 (除モバイル)
- IT利活用継続で各サービス売上堅調に伸長 IP: +8.4%、WAN: +4.6%
 - サイバーセキュリティ対策等で需要旺盛 セキュリティサービス売上: +20.3%
 - 新サービス追加でサービスラインアップ継続拡充
 - 自社開発SASEサービス、マルチクラウドデータ連携サービス等

- SI**
- 強い需要環境継続 期初想定を超える売上伸長 NW/SI複合大型案件も寄与
 - SI合計 受注: 1,209.1億円(+19.2%)、売上: 1,109.4億円(+16.4%)
 - うち構築 受注: 442.9億円(+14.6%)、売上: 429.5億円(+21.4%)
 - うち運用保守 受注: 766.2億円(+22.0%)、売上: 680.0億円(+13.4%)

- モバイル**
- 総回線数: 413.6万(+63.9万)、総売上: 422.7億円(+15.6億円)
 - 競合変化で個人獲得ペース上振れ推移、法人モバイル(IoT用途)で回線数大幅増加(FY21: +26.4万、FY22: +43.6万)、訪日外国人向け販売も復調

- 人材・その他**
- 人材獲得・育成強化 連結従業員数: 4,451名*+304名(FY21末:4,147名*+286名*)
 - 単体離職率: 3.8%(FY21: 4.2%)
 - 23年4月入社新卒社員数: 246名(前年比約1.4倍、22年4月: 178名)
 - NWエンジニア育成の「IIJアカデミー」開講(23年5月 第1期開講)

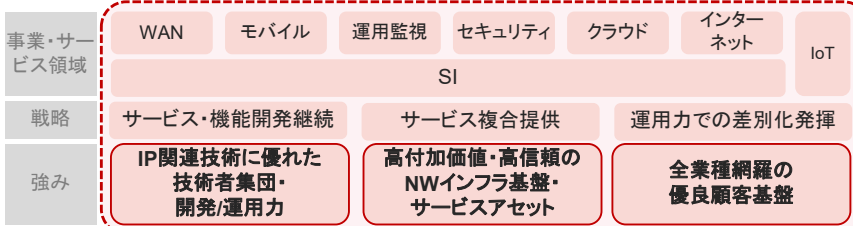
FY23見通し

成長戦略継続遂行で大幅増収・増収率引で利益拡大

サービスインテグレーターとしての強み発揮で
 現中期計画完遂し次計画での更なる発展へ
 (FY24~)

売上	営業利益	営業利益率	当期利益
2,860億円	315億円	11.0%	207.2億円
+13.2%	+15.7%	+0.2ポイント	+10.0%

- 事業環境**
- NW更改等の案件大型・複合化
 - サイバーセキュリティ対策需要拡大
 - 全業種でDXトレンド
- 事業基盤であるNWシステムの安定運用の重要性増大



増配 (1株当たり 配当額)	中間		期末	年間	配当性向
	FY22	14.625円	14.63円	29.255円	+21.9%
FY23	17.18円	17.18円	34.36円	+17.5%	30.0%

*株式分割調整後

Ⅱ. 連結業績サマリー

単位: 億円

販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載

	売上高比		前期比		売上高比		前期比	
	FY2022実績 2022年4月～2023年3月	FY2021実績 2021年4月～2022年3月			FY2022期初見通し (2022年5月発表) 2022年4月～2023年3月			
売上収益	2,527.1	2,263.4	+11.7%	+263.7	2,500	+10.5%	+236.6	
売上原価	77.1% 1,948.0	77.2% 1,747.1	+11.5%	+200.9	76.9% 1,922	+10.0%	+174.9	
売上総利益	22.9% 579.1	22.8% 516.3	+12.2%	+62.8	23.1% 578	+12.0%	+61.7	
販売管理費等	12.1% 306.9	12.4% 280.8	+9.3%	+26.1	12.2% 306	+9.0%	+25.2	
営業利益	10.8% 272.2	10.4% 235.5	+15.6%	+36.7	10.9% 272	+15.5%	+36.5	
税引前利益	10.8% 273.1	10.7% 241.6	+13.0%	+31.5	10.5% 263	+8.8%	+21.4	
当期利益 (親会社の所有者に帰属する利益)	7.5% 188.4	6.9% 156.7	+20.2%	+31.7	7.0% 175	+11.7%	+18.3	
ROE (親会社所有者帰属当期利益率)	17.0%	16.2%	+0.8ポイント		-	-	-	

Ⅲ. FY23業績見通し

単位: 億円
販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載

	売上高比	売上高比	前期比	
	FY23見通し (2023年4月～2024年3月)	FY22実績 (2022年4月～2023年3月)		
売上収益	2,860	2,527.1	+13.2%	+332.9
売上原価	77.1% 2,205	77.1% 1,948.0	+13.2%	+257.0
売上総利益	22.9% 655	22.9% 579.1	+13.1%	+75.9
販売管理費等	11.9% 340	12.1% 306.9	+10.8%	+33.1
営業利益	11.0% 315	10.8% 272.2	+15.7%	+42.8
持分法投資損益	△6	△2	-	△4
税引前利益	10.6% 304	10.8% 273.1	+11.1%	+30.4
当期利益 (親会社の所有者に帰属する利益)	7.2% 207	7.5% 188.4	+10.0%	+18.8

	売上高比	前年同期比	
	FY23上期見通し (2023年4月～2023年9月)		
	1,380	+13.1%	+160.4
	78.2% 1,079	+13.0%	+123.8
	21.8% 302	+13.8%	+36.6
	12.1% 168	+9.3%	+14.3
	9.7% 134	+19.9%	+22.3
	△2	-	△1
	9.4% 130	+1.1%	+1.4
	6.4% 89	+2.5%	+2.1

	売上想定の前提	粗利想定の前提
NWサービス (除くモバイル)	<ul style="list-style-type: none"> IT活用継続進展で各サービス積み上げ 大型複合案件の売上計上開始等で前期より伸長 	<ul style="list-style-type: none"> 増収に伴う構造的増益継続 粗利率は若干向上
モバイル	<ul style="list-style-type: none"> 半導体復調・コロナ後で法人モバイル(IoT等用途)高増収回帰 個人は端末売上減で横ばい、MVNEは年度単価減等で減収 	<ul style="list-style-type: none"> 前期反動で増益(端末費用減・旧プラン音声YoY利益減影響縮小)、接続料戻り益はない想定
SI	<ul style="list-style-type: none"> 追い風事業環境継続で需要旺盛 大型プロジェクト傾向・見込みで大幅伸長 上期に海外DC構築案件(約30億円)計上予定 	<ul style="list-style-type: none"> 売上規模増加で増益 粗利率はほぼ前期並み

その他想定の前提
<ul style="list-style-type: none"> 販管費等: 人件費等事業規模拡大に伴い増加 持分法投資損益: ディーカレット持分法投資損失約8億円見込み ファンド評価損益・為替損益は勘案せず 連結従業員純増: 400名程度(うち新卒246名) CAPEX: 225億円(含む白井DC2期棟分約70億円)

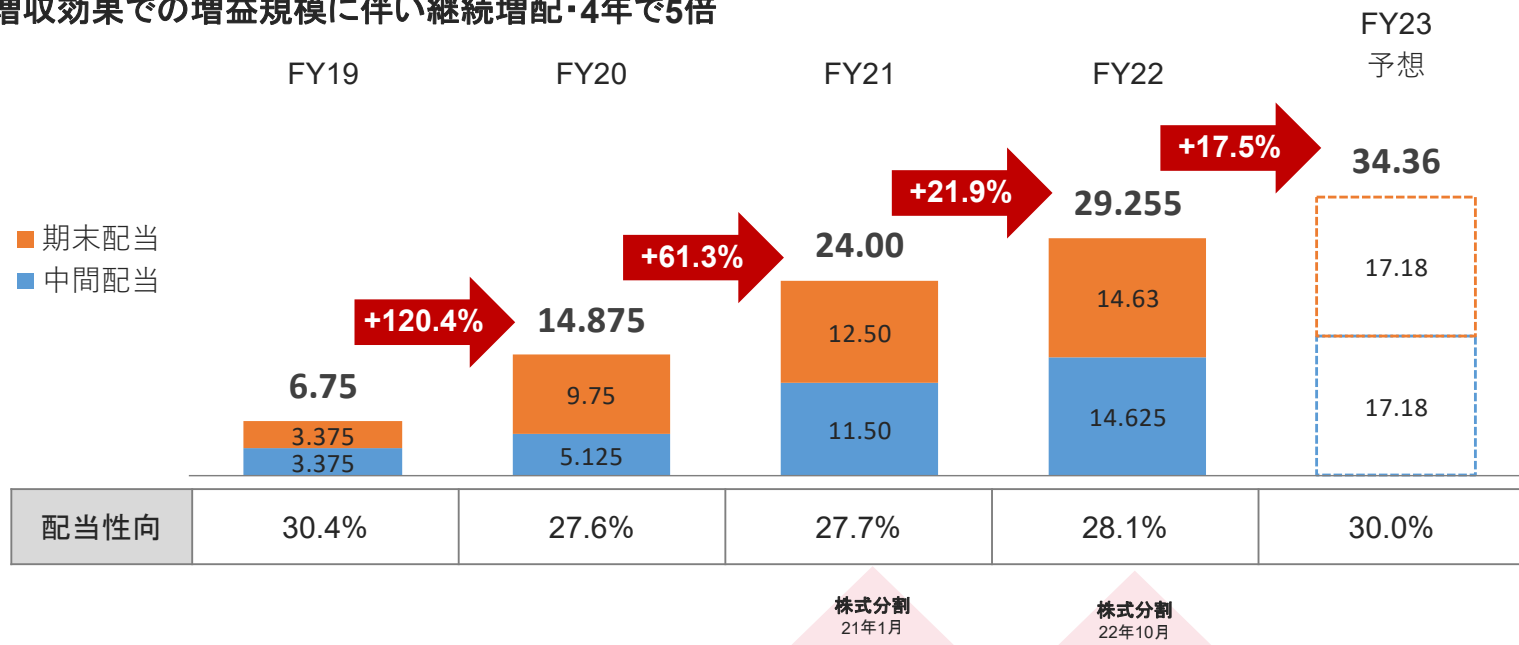
IV. FY23配当見通し

◆株主還元の基本方針:

財務体質の強化、中長期的な事業拡大・投資等のための内部留保に配慮しつつ安定的な配当を継続

◆1株当たり配当額の推移:

増収効果での増益規模に伴い継続増配・4年で5倍



- ・ FY21配当性向: 非定期的な非資金損益(ファンド評価益・減損等)を除外した実質的な配当性向は30%程度
- ・ 配当額は株式分割調整後で記載



Internet Initiative Japan

日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

IIJはいつもはじまりであり、未来です。